



* 第五中学校と学校図書館 *

《学校教育目標》「持続可能な未来の創り手として、
遅しく、心豊かに、学び続ける生徒の育成」
キーワード：「行動」「協働」「感動」



《 校 訓 》「みなぎる力、輝く希望、あふるる光」
この学校教育目標に基づき、図書委員会活動や、図書館活動を行ってきました。
第五中学校での3年間、本当にありがとうございました。

* 第五中図書館からの祝辞 *

3年生のみなさんのご卒業を前に図書館だよりを発行しました。みなさんとは第五中学校での3年間を一緒に過ごしてきました。学校生活の様々な場面で関わる事ができたと振り返ります。第1学年の図書館オリエンテーションでは「よろしくお願いします。」と少し緊張した面持ちで挨拶をしてくれました。第2学年に進級され、毎日館内で読書を楽しんでくれていました。第3学年では、図書館活動を自分達で率先して行ってくれました。昼休みには、毎日図書館で過ごしている3年生の姿がありました。中学生らしく素直で礼儀正しくふるまう態度を幾度となく目のあたりにしました。いつも優しい気持ちで友達や後輩と過ごしている姿がとても印象に残っています。

祝辞として、第五中図書館内にある本の巻末に掲載されていた文章を紹介します。

「春秋に富む」という言葉があります。芽吹き春と実りの秋。これから、そんな豊かな季節をたくさん過ごすであろう、若い人たちに向けた言葉です。みなさんにも、豊かな未来や、大きな可能性があります。それは、これからいろいろな経験をしていくなかで、世界にはさまざまな人たちがいて、いろいろなことを思い夢見て生きているということを知っていくことでもあります。そんなとき、みなさんの味方になってくれるものが「言葉という力」だと思います。それは、**自分の思いを相手に伝え、また、相手の思いを受け止める、人間だけが持つ、素晴らしい力**です。そして、それこそが本の中に広がっているものです。「春秋に富んだ」みなさんが、これからさらに世界を広げて、心を豊かにしていけることを願っています。

引用：『一色一生(講談社)』(巻末「この本を読んでもくれたみなさんへ」より)

* 読書の記録 *

3年間の読書の記録をお渡しします。中学校3年間の素晴らしい記録です。毎日図書館で過ごした日々を振り返ってみてください。読書活動を通じて、継続していく力をつけ、より優しく豊かな心を育むこともできたと思います。これからも豊かな心を持った人として、成長していけることを願っています。

* 贈る詩 *

谷川 俊太郎さんの詩を贈ります。
第五中図書館に、谷川さんの本は
四十冊ありました。

卒業式

谷川 俊太郎

ひろげたままじゃ持ちにくいから
きみはそれをまるめてしまふ
まるめただけじゃつまらないから
きみはそれをのぞいてみる
小さな丸い穴のおこう
笑っているいじめっ子
知らんかおの女の子
光っている先生のはげあたま
まわっている春の太陽
そしてそれらのもつとむこう
きみは見る
星雲のようにこんとんとして
しかもまぶしいもの
教科書には決してのってはず
蛍の光で照らしても
窓の雪ですかしてみても
正体をあらわさない
そのくせきみをどこまでも
いざなうもの
卒業証書の望遠鏡でのぞく
きみの未来